

天童市民病院における勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画（令和6年度）

令和6年3月現在の勤務医の勤務状況	目標
1 医師数 常勤 7名	・医局の役割分担通知に基づき、医師が担っていた業務等を看護師、コメディカル、事務等、他職種への役割分担を推し進める。
2 常勤医師週平均勤務時間 常勤週39時間	・勤務負担の軽減をより推進する。
3 当直回数 3月平均 2.9回（最大5回、最小0回）（日・祝 0.7回、平日2.1回）	・医師事務作業補助者の経験年数を積み上げる
4 日直回数 日祝1回 土曜半日3回	

分 野	現 状	令和6年度の目標	目標達成のために必要な手順	達成項目のチェック				備考
				令和6年7月		令和7年3月		
他職種との役割分担（看護師）	看護師が初診時の予診を実施	・実施済	・継続実施	☒	100%	☐		
他職種との役割分担（看護師）	看護師が静脈採血を実施	・実施済	・継続実施	☒	100%	☐		
他職種との役割分担（看護師・事務）	看護師・看護補助者が入院の説明を実施	・実施済	・継続実施	☒	100%	☐		
他職種との役割分担（看護師・検査技師）	看護師・検査技師が検査手順の説明を実施	・実施済	・継続実施	☒	100%	☐		
他職種との役割分担（薬剤師）	薬を薬剤師がチェックする	・薬を薬剤師がチェックする。	・薬を薬剤師がチェックする。	☒	100%	☐		
他職種との役割分担（管理栄養士・リハ）	リハビリ実施患者の栄養状態の早期期把握が不十分	・リハビリ職員、看護師と管理栄養士の連携による栄養管理の充実	・リハビリ職員、看護師と管理栄養士が連携し、電子カルテで情報共有する	☒	100%	☐		
他職種との役割分担（事務職員）	医師事務作業補助者4名（常勤換算2.2人）配置済内、3年以上2人（常勤換算1.8人）配置済	・医師事務作業補助者の配置及び経験年数の増加	・医師事務作業補助者の配置を行い、経験年数を増加させる。	☒	100%	☐		
	医師の作成する文書が多い	・訪問看護指示書及び生活保護要否意見書等の作成の補助を行う。	・訪問看護指示書及び生活保護要否意見書等の文書の作成の入力を補助する。	☒	100%	☐		
多職種との役割分担 （看護師・リハビリテーション・事務職員）	他医療機関との入退院調整に手が取られる	・地域医療連携室による事前調整の徹底（実施済）	・入退院調整会議の内容充実 ・他医療機関との顔の見える関係の強化（継続実施）	☒	100%	☐		
	手当等の集計に時間を取られる	・システム対応ができるか検討する	・システム対応が可能か電カル業者との検討 ・事務対応できるかの検討	☒	0%	☐		
医師の負担軽減及び処遇改善	①連続当直を行わない勤務体制の実施	・実施済	・継続実施	☒	100%	☐		
	④当直翌日の業務内容に対する配慮	・実施済 （当直翌日は午前勤務までで、午後休み）	・継続実施	☒	100%	☐		
	当直回数の削減	・常勤医師の当直回数を削減する	・常勤医師の当直回数を削減するため、外部医師と委託契約を行う	☒	90%	☐		
	業務量や内容を把握した上で、特定の個人に業務負担が集中しないよう配慮	・発熱外来業務が継続される中での配慮	・医師との調整(医局会)	☒	100%	☐		